



「作って楽しむパソコン講座」実施

今年も11月に3回に亘って、「作って楽しむパソコン講座」を開催しました。

恒例の年賀状作りです。干支のイラストや好きな画像を取り込んでデザインして、WORD を使って作成しました。素材はネットにたくさんありますので、『年賀状 フリー素材』という言葉で検索してみてください。



四五百歩

11月のある休日、松阪市小野江にある松浦武四郎記念館とそこから700mほど離れた生誕地を初めて訪れました。

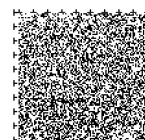
雲出川の手前をほんの少し西へ入ったところで、昔の伊勢街道（参宮道）に面しています。生家は江戸末期の庄屋さんの為それは立派なお屋敷で、小さな庭が3つもあるお宅でした。当時、雲出川に橋が掛けられていなかったのが大雨が降ったりすると、お伊勢参りの旅人は何日も旅籠に泊まったのでその人たちの話を武四郎は聞いて、他国に興味を持ったようです。また武四郎は四男坊の為、自由気ままに生きて、日本中を旅し、僧侶になったり、薬や絵の勉強をしたり、蝦夷地へ6回も行きアイヌの人たちを守ったとのこと。

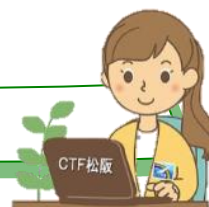
松阪が生んだ偉人の一人ですから記念館や生誕地へ一度行かれたら如何でしょうか？



NY2020

今月号は文字数が多いので、第2ページ、第4ページに音声コードを2個付けてあります。第2ページ、第4ページでは、先に左下の音声コードを、次に右下の音声コードを読んでください。





★ イヤホンが音を発生させる仕組み

イヤホンで音楽を楽しむためには再生機器に接続する必要があります。この時にケーブルやワイヤレスでイヤホンに伝わる情報は、楽曲そのものではなく電気信号となっています。イヤホンはその電気信号を受け取ることによって音を作り出しています。

イヤホンが音を発生させる上で最も重要機構がドライバーユニットです。このドライバーユニットはイヤホン本体に組み込まれています。

ドライバーユニットには振動板と呼ばれるパーツが取り付けられており、電気信号を受け取った際に振動板を振動させることによって空気を振動させて音を作り出しています。ドライバーユニットはイヤホンにおける「心臓」の役割をしています。なおヘッドホンも同様にドライバーユニットによって音を発生させています。

★ ドライバーユニットの種類は主に3つ

イヤホンにおいて最も重要な働きをするドライバーユニットは構造自体完成されたものとなっていますが、組み合わせや配置数などによってその名称や音色が大きく異なります。

●ダイナミック型

ダイナミック型ドライバーは最も一般的な構造を持ったドライバーです。

主に低音域の出力が得意とされており、低音特化型のモデルはダイナミック型ドライバーを売りにしている場合が多くなっています。



●バランスドアーマチュア型

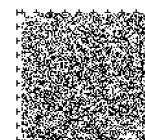
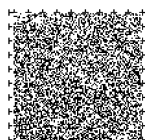
バランスドアーマチュア型ドライバーは一般的なドライバーとは異なり、振動板に直接電流を流すことで音を発生させる小型のドライバーユニットです。

小型であることを生かしてそれぞれ異なった音域に特化したものを複数配置することで、偏りのないバランスの良い音を作り出すことができるとされています。



●ハイブリット型

ハイブリット型ドライバーは、ダイナミック型ドライバーとバランスドアーマチュア型ドライバー両方を搭載する贅沢なドライバーユニットです。主にハイエンドイヤホンに採用されることが多く、モデルによっては10個以上のドライバーを搭載したモデルも存在します。サウンドは低音から高音まで余すことなく出音できるため、非常に幅広いジャンルに対応させることが可能です。





活動報告

【11月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(10日、17日)

難病患者さんへの意思伝達支援

(12日、25日)



活動予定

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

15日、22日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30



徒然なるままに

世界遺産に登録されておる「春日大社」とは何ぞやと興味が湧いて、何年か前の5月に行ってみたのじゃ。

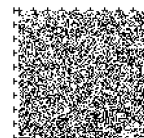
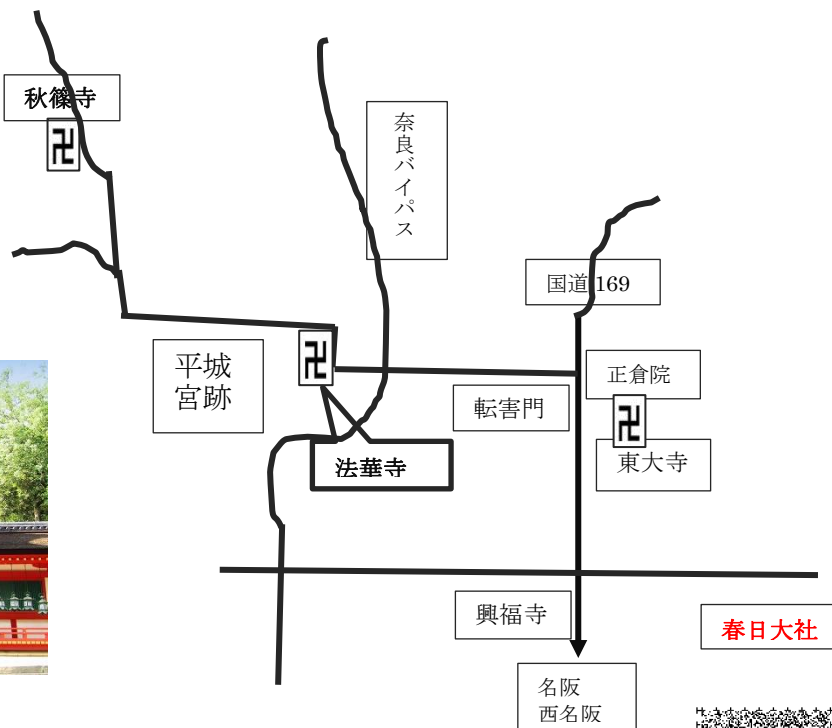
一之鳥居からまっすぐ山道を歩き、萬葉植物園を通り過ぎて、最終的に本殿まで約1.7キロ。徒歩で20分ほどかかるので、汗ばむほどで、歩きやすい靴がおすすめじゃ。

飛鳥から平城京への遷都にともなって、茨城の鹿島からタケミカズチノミコトを迎えたのが、春日大社のはじまりとのこと。その際にミコトが白鹿に乗ってきたという言い伝えから、春日大社は「鹿」を神使としておる。その数は奈良公園全体で1380頭ほど。

その後、千葉の香取からフツヌシノミコト、大阪の枚岡からアメノコヤネノミコトとヒメガミをお迎えして、奈良時代中期に4つの神をまつて、いまのような社殿ができたそうじゃ。皇室を始め貴族や武士などの春日詣でが流行して、鎌倉時代からは庶民の信仰もさかんになり、人々から石燈籠、釣燈籠が寄進されたのじゃ。3000基の燈籠すべてに火を灯す「万燈籠（まんとうろう）」が節分の日と8月14・15日に行われ、美しく幻想的な雰囲気をつくり出すそうじゃ。



本殿は春日造と呼ばれる4つの本殿がある。いまの本殿は文久3年（1863年・江戸時代末期）に造られ、20年に一度の「式年造替」の制度により平安時代末頃の建築様式を受け継いでおるそうじゃ。





丹生と水銀

先日丹生にいてきました。丹生は、橿田川中流域にあり古代より水銀が産出されました。丹生には中央構造線が通っていて中構造線の近くで水銀が産出され奈良大仏に鍍金するために用いられた水銀は、この地の辰砂から精製された水銀が用いられたようです。

奈良時代には、東大寺大仏殿の鍍金にも使われており、伊勢神宮の土産として白粉も販売されこの地は大変潤っていたようです。

なお水銀は30年程前まで細々と採掘されていたようです。

古い街並みの中には、長井家跡（三井高利の母殊法さんが松阪へ嫁入りの時に松阪のような田舎と心配したとの話もある）西村彦左衛門家跡（立梅用水創設者）とみるところも多くあり里歩きを楽しむことができます。西村彦左衛門家跡隣には、金川珈琲（東京で有名自家焙煎珈琲店）がありにぎわっていた。



by H・S

編集後記



ここにきてコロナの感染者数が急激に増えてきました。GoToトラベルで気が緩んだせいもあるかもしれませんが「マスク・手洗い・三密からの逃避」を守ること、「感染者の数に加わらないための自己管理」に心がけましょう。

また飲酒を伴う会食においてクラスターの発生の多く見られていることから、「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」を心がけましょうね。



CTF 通信第 213 号

2020年（令和2年）12月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人
CTF 松阪
発行責任者 山田 則 男
住所 〒515-0083
松阪市中町 6-9-140
電話 0598-26-6333
URL <http://ctf.dip.jp/>

